

二〇一三年度（平成二十五年）

茗溪学園中学校入学試験問題

海外生特別選抜入試B方式

国語

（50分）

諸注意

1. 開始の合図があるまでは、この問題用紙を開けないこと。
2. 答えはすべて解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙には受験番号、氏名を必ず記入すること。
4. この問題用紙は回収するので持ち帰ってはならない。

受験番号

氏名

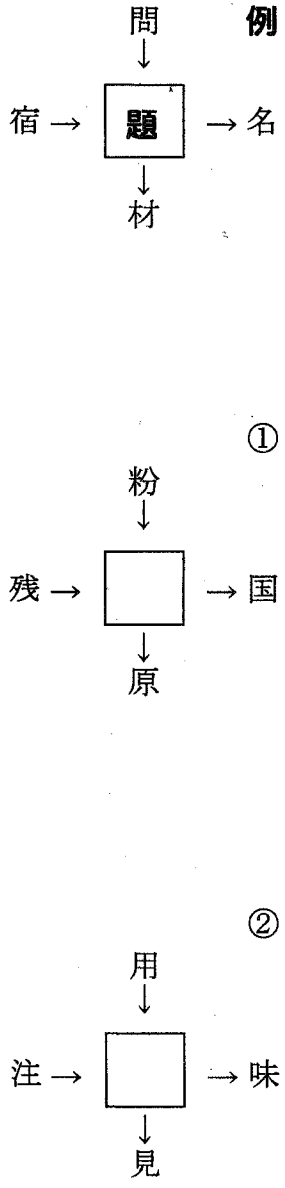
1. 次の①～⑤の 部の漢字の読み方をひらがなでそれぞれ答えなさい。

- ① 畑を耕す。
- ② 幼い妹がいる。
- ③ 労働を免除する。
- ④ 中身を省く。
- ⑤ 横線に対して垂直な線を書く。

2. 次の①～⑤の 部のカタカナを漢字でそれぞれ答えなさい。

- ① ロケットがハツシヤされる。
- ② 茨城県のケンチヨウ所在地は水戸市です。
- ③ 弟のメンドウをみる。
- ④ 学校のキソクを守ろう。
- ⑤ ゼツタイゼツメイのピンチ。

3. 例にならって二字熟語となるように、次の①・②の□に当てはまる漢字を一字でそれぞれ答えなさい。



4. 次の文章を読んで、あとの間に答えなさい。(本文の数字は段落番号を表します)

1 ①特別なスポーツファンでもない私がスポーツを観戦するのは、スポーツとして観ているのではない。ヒューマン・ドキュメンタリーとして観ているからである。おかげで、いまだにルールに通じていない。それでも面白いのは、テレビ放映によって顔の表情までとらえることができるようになり、それを観るだけでも興味がつきないからだ。

2 スポーツ選手の三十歳は、A 立派にベテランである。だから、普通の人の三十歳の顔でなく、四十、五十代の人の顔になっている。その結果、二十歳のときよりも美しくなっている選手が、競技の面でも強い。おそらく、人間の顔の美しさの要因の一つが、自信にあるからではないかと思っている。

3 これ以外にもう一つ、スポーツの観戦に私を引きつける理由がある。それこそヒューマン・ドキュメンタリーとして観る理由なのだが、何が勝利の原因になるのか、ということを考えてくれるからだ。

4 スポーツでも歴然と、強いチームなり強い選手なりは存在する。大量得点とか圧倒的な力の差を示して、勝つというタイプである。

5 こうなると、ちよつとしたエラーや失点は帳消しにしてしまいうくらいのパワーの差異だが、これならば、勝つのは当たり前だから、私も常のスポーツファンと一緒になって熱狂していればよい。

6 興味をそえられるのは、別のケースである。

7 強いチームでも選手でも、必ず好不調があるものだが、②不調を彼らはどのように処理しているかを観察しはじめるや、単なるスポーツ競技もBに一変するのである。

8 不調のときでも、どうやって彼らは、勝ちを持続させているのか。

9 スランプに陥っていることが最も明らかにあらわれているのは、攻撃面だろう。つまり、思うように得点できないということである。このような場合にまず第一に考えるのは、防御を固めるということに違いない。

10 ところが、不調とは、一面だけではなく全般的に不調ということだから、オフセンスにとどまらずダイフェンスも不調なのは当たり前で、こちらは得点できないのに相手には点を入れられるという結果に終わりやすい。

11. これだと負けるしかないのだが、強いチームだとそう簡単に負けない。日本語だと、辛勝しんしょう、という言い方にして勝つ場合が多い。つまり、やっと勝った、というわけだが、それでも勝利にはちがいないのだから、勝ちを持続させるという最終目標には適あたっているのである。

12. それで、どうやって辛勝にしても勝ったかだが、私の観察するに、ミスをしないうことで勝ちに近づけるといふことのように思う。アメリカのバスケット界の雄であるマイケル・ジョーダンマイケル・ジョーダンは、不調の日ほどにだが、相手のファウルで得たフリースローを、絶対と言つてよいくらいにはずさない。(中略)

13. フリースローなのだから、もはや完全に個人の精神の問題で③「技」よりは「心」で決まることだと思ふ。勝利への確固たる意志が、あるかないかの問題ではなからうか。

14. **C**、ミスをしないうちに心がける態度は、スランプの期間を生き抜くには効果ある戦法ではあつても、いつでもこれでは何も産まない。スポーツならば、**覇者**にはなれない。人間ならば、成功もしなければ失敗もしないという感じで、悪くすれば、一生④うだつが上あがらないで終わつてしまいがちだ。**D**、ミス回避主義とは、人間の生き方としては気の滅入る生き方で、喜びは産まないからである。喜びがなければ、人間はついてこない。

15. 勝ちを拾ったと言われようがまずはそれで不調を切り抜け、好調がもどつたとたんにそれに乗つて圧勝を獲得すべきなのだ。

16. 人間生活も、スポーツ競技に似ているような気がする。負け続ければ、ほんとうにいけませんよ。人間、⑤それに慣れてしまつて、負けているということすら自覚できなくなつてしまうのだから。

「塩野七生『ローマの街角から』」

問 1

線部①「特別なスポーツファンでもない私がスポーツを観戦するのは、スポーツとして観ているのではなく、ヒューマン・ドキュメンタリーとして観ているから」とありますが、筆者がスポーツをヒューマン・ドキュメンタリーとして観戦するときに特に興味を持っていることを文中のことはを使って二つ答えなさい。

問 2

A にあてはまる言葉としてもっとも適切なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア. いまだ イ. さらに ウ. なお エ. もはや オ. けれども

問 3

線部②「不調」と同じ意味で使われている言葉を本文中から一語で書き抜きなさい。

問 4

B に当てはまる言葉を本文中から十五字以内で書き抜きなさい。

問 5

線部③「技」よりは「心」で決まる」の説明として最も適切なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 技術以上に勝利への強い意志の有無が勝敗を分けるということ。
- イ. 技術の高さと集中力の高さはほとんど無関係であるということ。
- ウ. 自己のすぐれた技術が相手の自信を失わせてしまうということ。
- エ. 技術が高くて不調のときは氣力を保てなくなるということ。
- オ. どんなに意志が強くて自分の技術がないと意味がないということ。

問 6

記号で答えなさい。
記号で答えなさい。

- ア. なぜなら イ. そのうえ ウ. あるいは エ. ただし オ. そこで

問 7

線部④「うだつが上がらない」のここでの意味として最も適切なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. いつまでたっても地位が上がったり生活がよくなったりしない。
イ. 辛抱して根気強く一つのこと打ちこむということができない。
ウ. 本来持っているはずのすぐれた才能を十分に出すことができない。
エ. 努力したとしても見合った成果をなかなかえることができない。
オ. 失敗ばかりでいつも怒られて、どこかに逃げ出したくなる。

問 8

線部⑤「それ」が指している内容を本文中から五字で書き抜きなさい。

問 9

線部「興味がつきない」とありますが、あなたにとって興味がつきないもの（やっついて夢中になるもの、好きなもの）は何ですか。別紙の解答用紙に四〇〇字以内でわかりやすく説明してください。ただし、その文章のなかに「なぜなら」・「たとえば」・「したがって」という言葉を使って説明してください。